

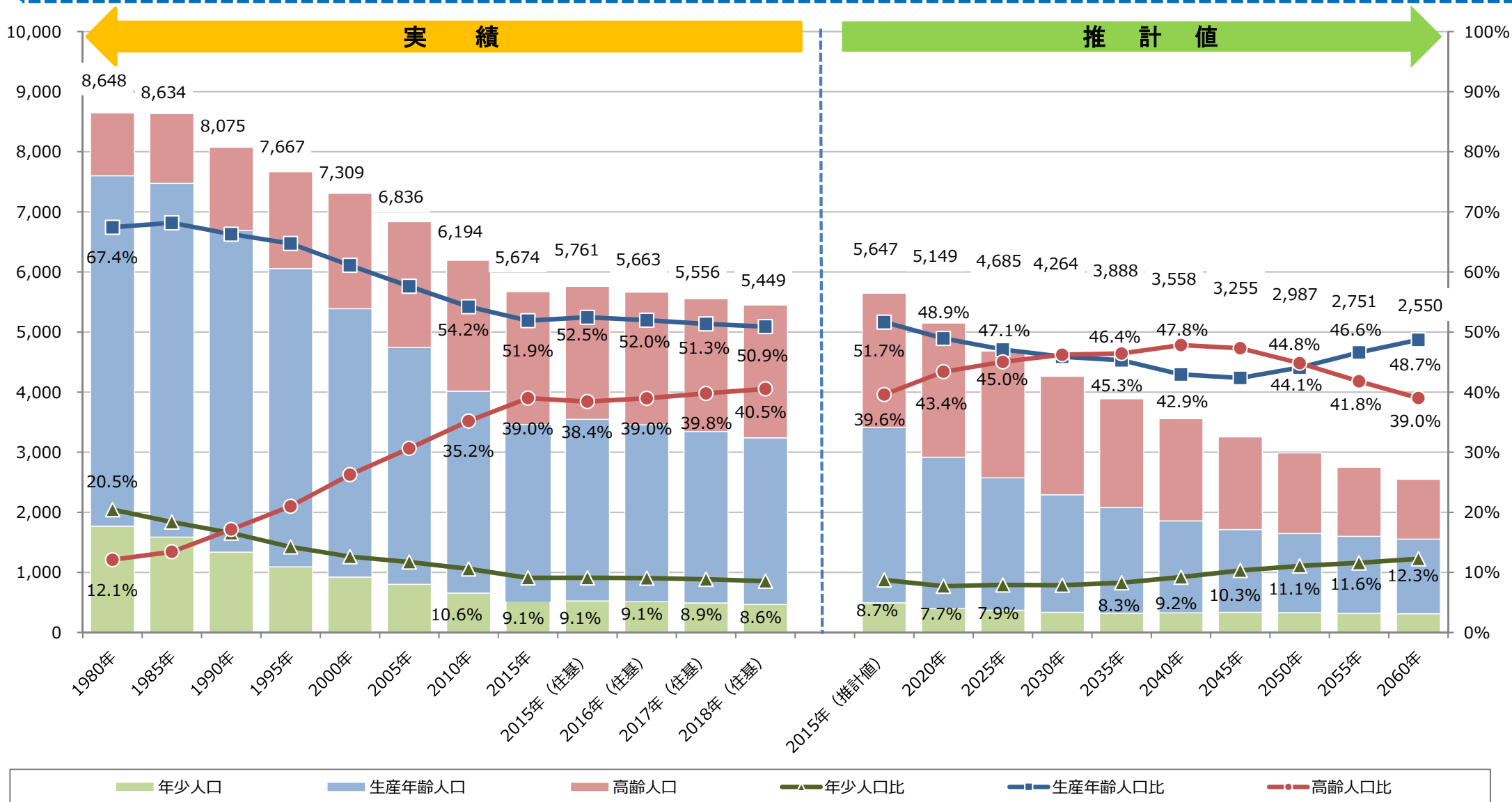


奈井江町の人口動向

総人口の推移

2015年（平成27年）国勢調査の総人口は5,674人となり、前回調査（2010年）と比較すると△520人（△8.4%）となったものの、人口ビジョンの推計値と比較すると27人上回る結果となった。

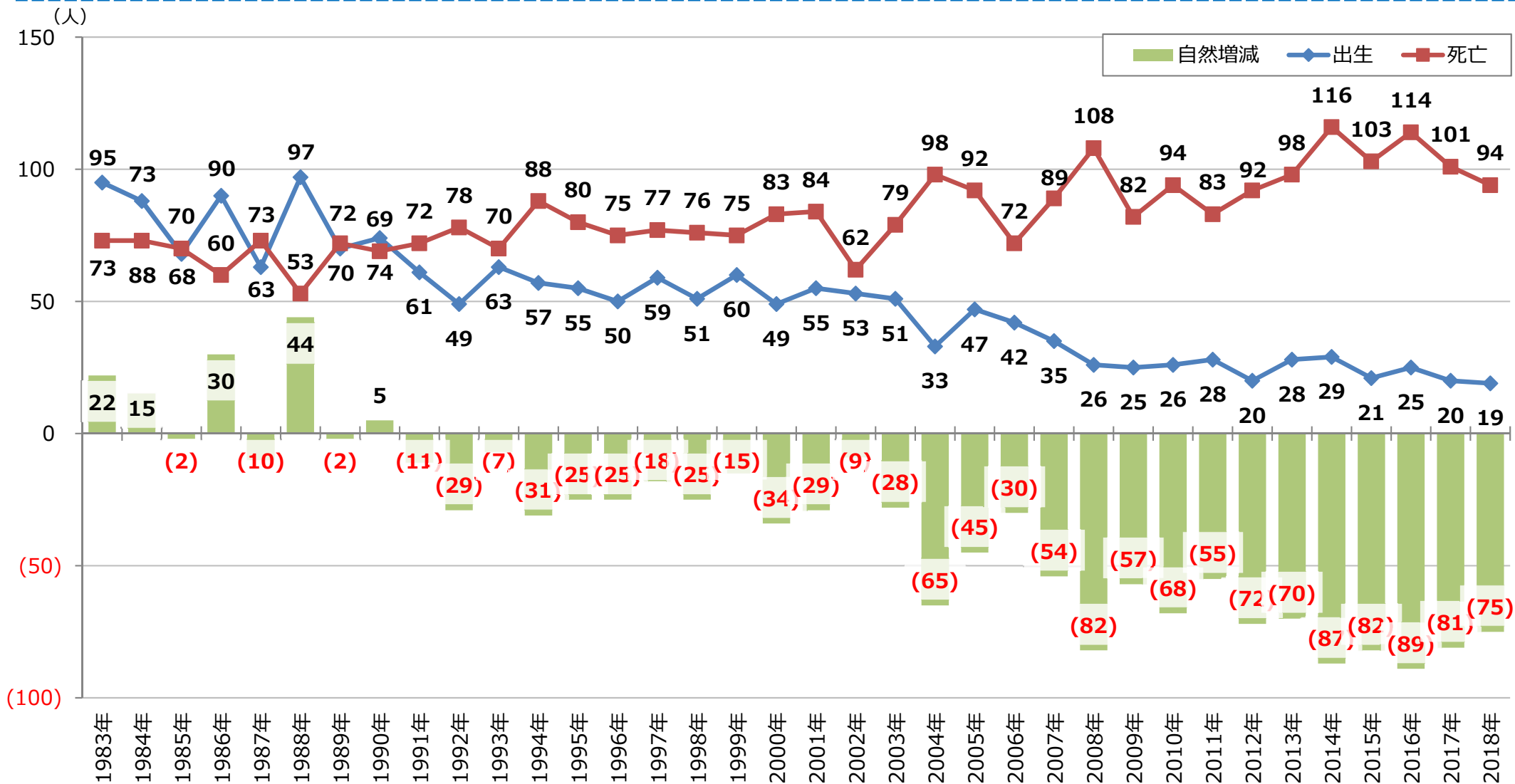
参考値として、住民基本台帳上の人口とも比較してみると、住民基本台帳上の人口は、国調より100人程度多い傾向があることを考慮しても推計値とほぼ同程度で推移していると思われる。



(出典：住民基本台帳、国勢調査、奈井江町人口ビジョン)

出生・死亡（自然増減）の推移

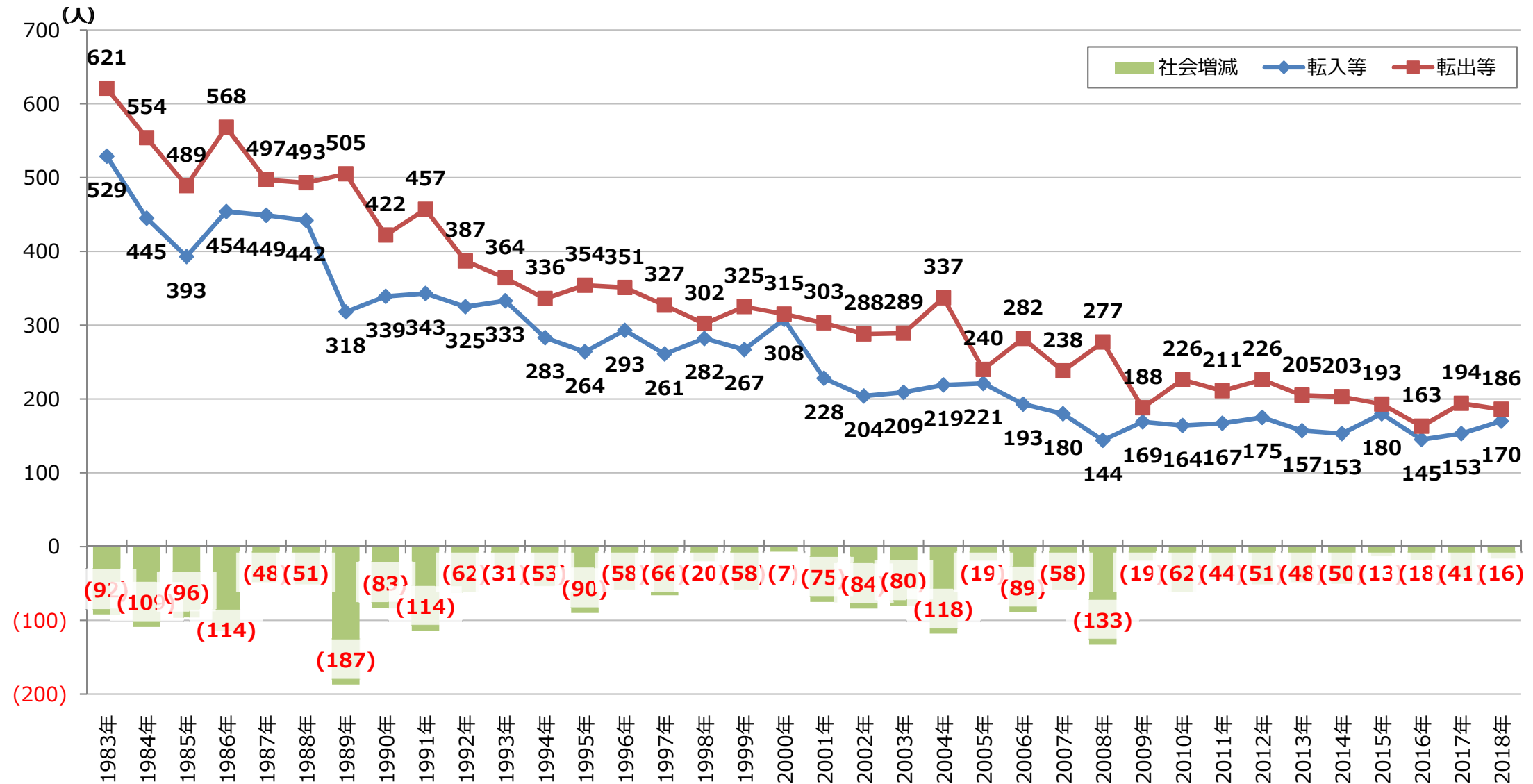
2018年（平成30年）の状況を見ると、出生、死亡ともに前年と比較し、減少となった。
 出生数については、近年の状況と比べると若干減少しているが、ほぼ横ばいをキープしている。2019年の出生見込み数も6月12日現在で24人となっており、ほぼ横ばいで推移している。
 死亡数については、高齢者人口のピーク期が当面続くことが予想されますが、死亡者数は減少傾向になってきている。今後も若干の増減はあるものの、減少傾向に転じていくことが想定される。



（出典：1983～2002 空知総合振興局 空知地域保健情報年報、2003～2017住民基本台帳）

転入・転出（社会増減）の推移

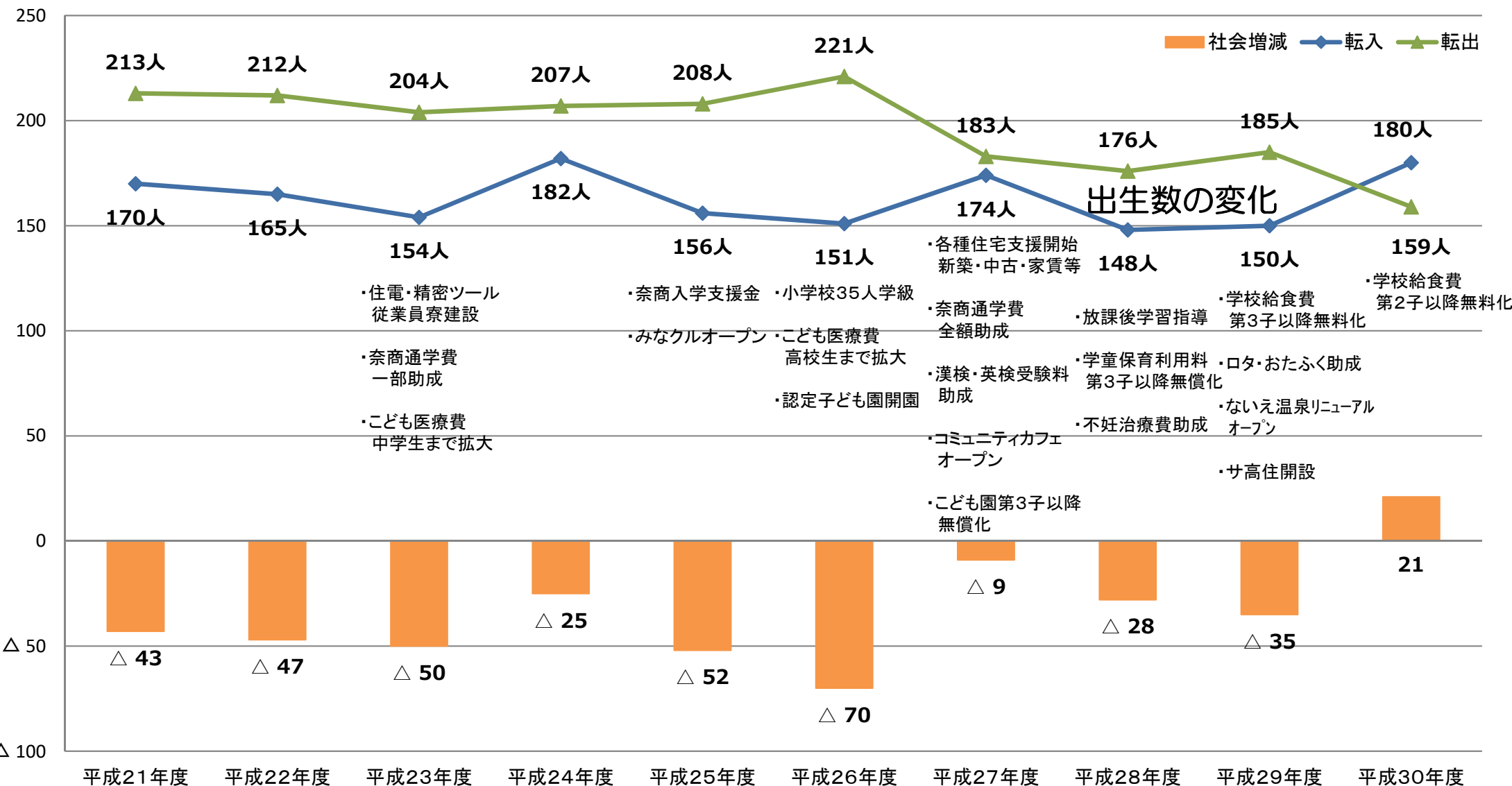
2018年（平成30年）の状況を見ると、転入者数は2年連続で増加となり、転出者数が減少した結果、2018年の社会増減数は、マイナス16人となった。かげりを見せたと思われた定住施策の効果は依然として続いていることがわかった。
2018年度（平成30年度）新たな集合住宅の建設や北町4区に分譲地もほぼ完売したこともあり、社会減の減少につながったと推測される。



(出典：住民基本台帳)

転入・転出状況を年度ベースで見ると、平成30年度末においては、社会増に転じる大きな効果が現れた。
 この転入・転出の状況にこれまで進めてきた子育て支援策等を重ねてみると、昨年度、社会増に転じさせるほど、町施策に特殊性はないが、集合住宅の建設が多かったことや分譲地の販売が進んだこと、また、これまで取り組んできた施策の効果などいくつかの要素が合わさった結果と推測される。

年度ベースで見る過去10年の転入・転出状況



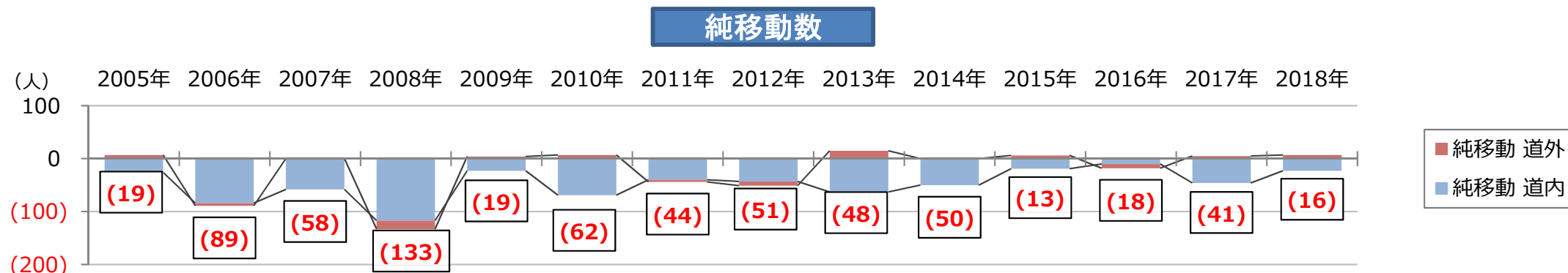
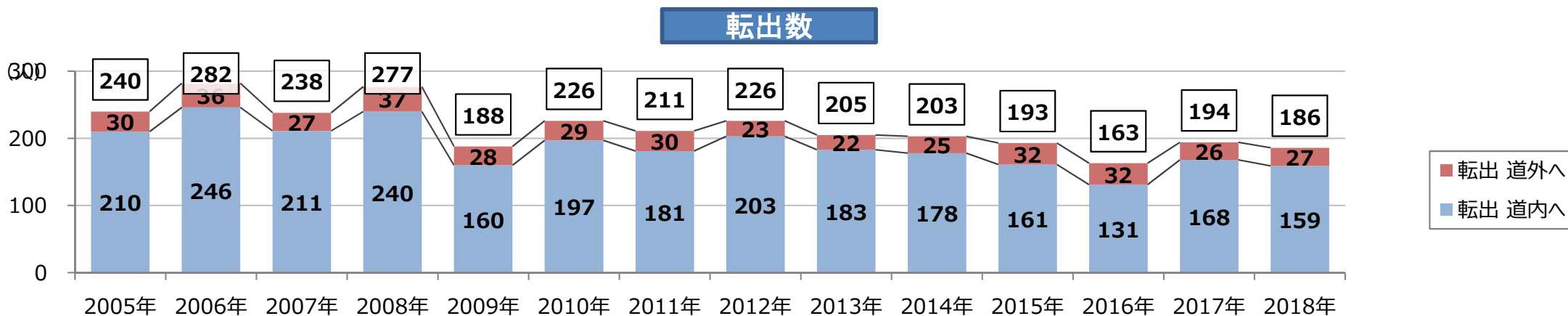
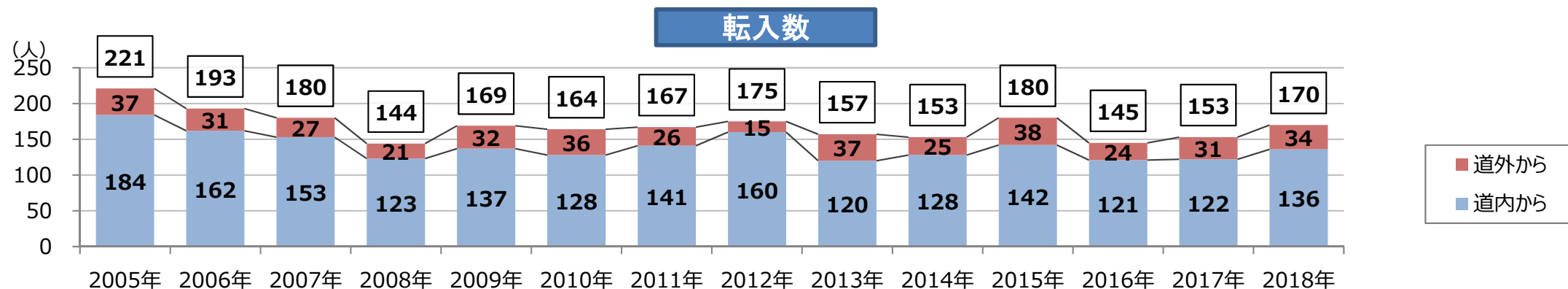
社会増に転じた主な要因として、子育て世代の転入が多く影響していると考えられ、年度ごとの出生者数が小学校入学段階において、増加に転じている下記の状況からもはっきりとみることができる。

- 平成22年度～平成26年度（施策実施前）
出生者数に対し入学者数が同数もしくは減少している。
- 平成27年度～平成31年度（施策実施後）
出生者数に対し入学者数が増加している。

| | 出生者数 | | | 小学校入学者数 |
|--------|------|--------|--------|---------|
| 平成15年度 | 47 | | 平成22年度 | 47 |
| 平成16年度 | 41 | | 平成23年度 | 38 |
| 平成17年度 | 45 | 減少 施策前 | 平成24年度 | 39 |
| 平成18年度 | 37 | | 平成25年度 | 30 |
| 平成19年度 | 37 | | 平成26年度 | 33 |
| 平成20年度 | 24 | | 平成27年度 | 32 |
| 平成21年度 | 29 | | 平成28年度 | 32 |
| 平成22年度 | 22 | 増加 施策後 | 平成29年度 | 37 |
| 平成23年度 | 23 | | 平成30年度 | 25 |
| 平成24年度 | 17 | | 平成31年度 | 26 |

転入・転出の推移

2018年（平成30年）の状況を見ると、転入・転出ともにほぼ例年ベースの割合となった。今後は、多少増減はあるものの、子どもの数の減少とともに、純移動数も徐々に減少していくものと見込んでいる。



(出典：住民基本台帳)

未婚率の推移

2015年（平成27年）の状況を見ると、15歳以上人口で見た場合は、未婚率は上昇傾向が続いているが、25歳～49歳の年齢区分別の未婚率を見ると、若い世代で男女とも減少していることがわかる。

■ 15歳以上の人口に対する未婚率

【男性】

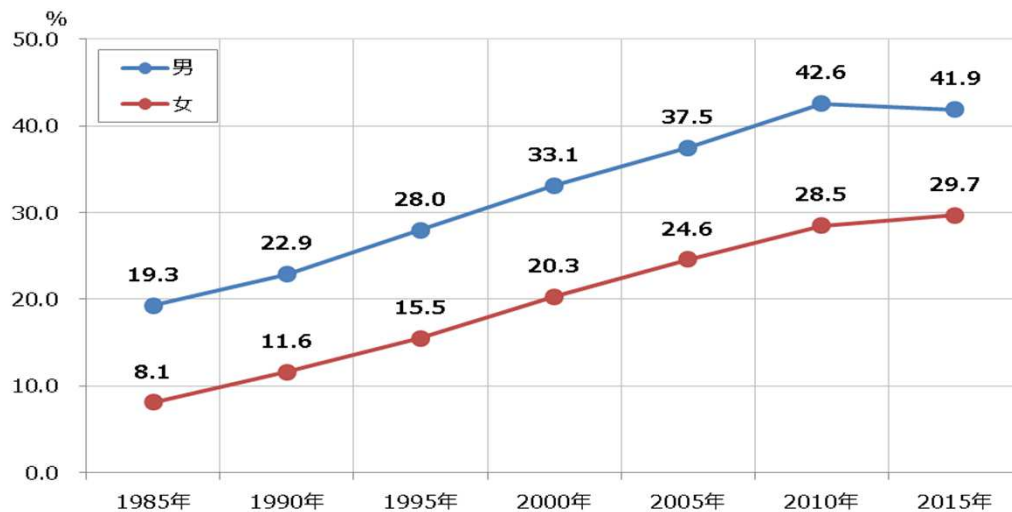
【女性】



(出典：国勢調査)

未婚率の推移

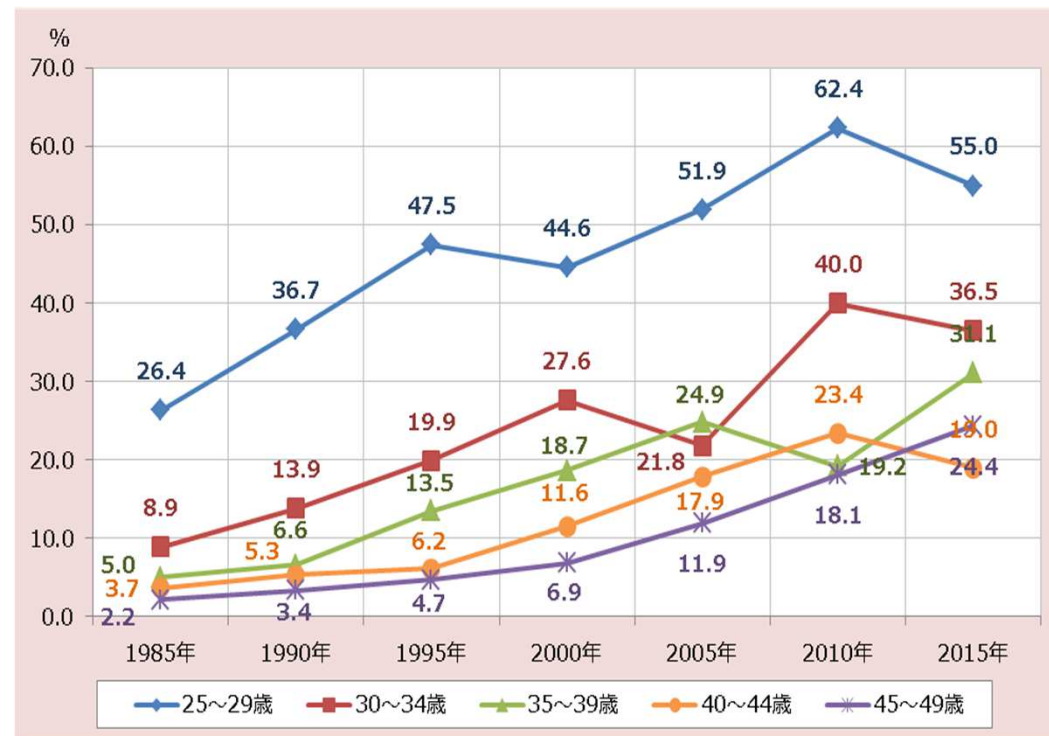
■25～49歳の人口に対する未婚率



■25～49歳年齢区分別の未婚率

【男性】

【女性】



奈井江町の合計特殊出生率

奈井江町独自で算出した平成20年～平成30年の合計特殊出生率と出生数を表している。

公表されている統計データの合計特殊出生率は、前回値（平成20年～平成24年の平均） 1.15

奈井江町独自で算出した数値（平成20年～平成24年の平均） 0.99 ⇒ 1.26（平成25～平成29年の平均）

全国の合計特殊出生率は、平成30年ベースで1.42となっていることから、依然、全国平均以下で推移しているものと推測される。

※ 公表データは、バイズ推定という客対数が少ない地域は、2次医療圏の情報を加味して算出される。

